

MATRIX

LIFESTYLE TREADMILL



重要な注意事項

本説明書は大切に保管してください。

本機を使用する際は、基本的な注意事項に必ず従い、以下の事項も守ってください：使用者の安全とマシンを保護するため、説明書をすべてよく読んで上でご使用ください。本機を所有している方が責任を持って、使用者全員が警告および注意事項をすべて理解するようにしてください。

本機は屋内専用です。本機は、フィットネス施設のような業務用施設での使用を目的として設計されたSクラスの製品（製品）です。

本機は、EN ISO 20957-1 および EN 957-6 に準拠しています。

警告！

やけど、火事、電気ショック、怪我のリスクを低減するため：

- 本機は、取扱説明書に記載通りの用途のみにご使用ください。
- 正しい方法に従わずに、または適度な範囲を超えて運動を行うと、重度の怪我や死亡に至る恐れがあります。気が遠くなったり、胸の痛み、吐き気、めまい、息切れなど、何らかの身体の異常を感じた場合は、運動を直ちに中止して、続行する前に医師にご相談ください。
- 14歳未満の子どもは本機を使用してはなりません。
- 本機から3メートル（10フィート）以内の範囲にペットまたは14歳未満の子どもを近づけないでください。
- 14歳以上の子どもは成人の監視の下でない限り、本機を使用してはなりません。
- 本機は、身体能力、感覚能力または精神的能力に障害をお持ちの方、または本機の使用について十分な経験および知識をお持ちでない方による使用を対象としていません。但し、これらは本機を使用する方の安全責任者の下で監視または指示が行われている場合はこの限りではありません。
- 怪我しないよう、使用前に安全クリップを衣服に取り付けてください。
- 怪我しないよう、本機を起動させる前はサイドレールの横に立ってください。
- 動作中のランニングベルトに安全に留まることができないと感じた場合は、ハンドルバーをつかんで支え、動かないサイドレール上に移動し、動作中のランニングベルトを停止させてから降りてください。
- 心拍数モニタリングシステムは正確でないこともあります。
- エクササイズを行う際は、必ず無理のないペースで行ってください。
- 本機のいずれかの部分に引っかかる恐れのある服は着用しないでください。
- 本機の使用中は常に運動靴を着用してください。
- 本機の上で飛び上がらないでください。
- 本機の定員は1名です。
- 取扱説明書の仕様に指定されている体重以上の方は本機を使用しないでください。これに従わない場合、保証が無効になります。
- 接続を解除するには、すべてのコントロールをオフ位置に切り換え、それから電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を保守または移動する前にはすべての電源を切ってください。クリーニングには表面を石鹸水でわずかに湿らせた布で拭いてください。溶剤は使用しないでください。（メンテナンス参照）
- 使用しない時、またはパーツの取付け・取り外しの前は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機は適切に接地したコンセントにのみ接続してください。
- 販売時に本機では本来意図していない、または互換性のないパーツまたはアクセサリを取り付けた場合、保証が無効になり、安全性が損なわれます。

注意！

本機のご使用前に医師にご相談ください。ご使用前に取扱説明書をお読みください。

本機は必ず屋内の温度と湿度が制御されている部屋でご使用ください。本機が低温または高湿度の気候にさらされた場合は、使用する前に本機を室温に慣らしてから使うことを強く推奨します。これに従わない場合、早期電子故障の原因となることがあります。

初期（デフォルト）開始速度は毎時0.8キロ（0.5マイル）です。開始速度を高く設定し過ぎると、危険な場合があります。

危険！

感電のリスクを減らすために：

使用直後、清掃やメンテナンスの実行、部品の取り付けや取り外し前には、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

- コードや電源プラグが損傷している場合、本機が正常に作動しない場合、落としてしまったり、損傷を受けていたり、水浸しになった場合には絶対に本機を稼働させないでください。カスタマーサービスに電話で問い合わせ、検査および修理を依頼してください。
- 電源コードを加熱した表面から離してください。
- 感電防止のために、どの開口部にも絶対に物体を落としたり、挿入したりしないでください。
- エアゾール（スプレー）製品が使用される場所、または酸素投与が行われる場所で本機を使用しないでください。
- ガレージ、ポーチ、プールルーム、風呂、カーポート、屋外など、温度調節がされていない場所に本機を設置しないでください。これに従わない場合、保証が無効になります。
- カスタマーサービスから指示されるまではコンソールカバーを取り外さないでください。メンテナンスは公認のサービスエンジニアのみが行ってください。
- 第三者による制御されない使用を防ぐために、電源を切ってトレッドミルを動作不能にします。
- 通常の頭の高さで測定した場合、本機が毎時12キロで走行している（負荷無し）際の加重音圧レベルは70 dBを上回ることはありません。
- 負荷がある状態で発生する騒音は負荷が無い場合よりも大きくなります。





電源要件

専用回路と電気系統に関する情報

「専用回路」とは、差し込んだコンセントでは、その同一回路上で他に何も動作していないことを意味します。このことを検証する最も簡単な方法は、メイン回路のブレーカーボックスの位置を特定し、ブレーカー（1つまたは複数）を同時にオフにする方法です。ブレーカーがオフになると、電力が供給されなくなる唯一のものが、当該のユニットであるはずです。このテストを実行すると、ランプも自動販売機も換気扇も音響設備もその他あらゆる物も電力供給を失わないはずです。

非ループ状（絶縁）の中性点接地とは、各回路から個別の中性点接地接続が出ていて、認可されたアース接地で終わっていることを意味します。1つの回路から次の回路へ単一の中性点接地で「ショートカット」することはできません。

電気系統要件

安全のため、また本機が確実にすぐれたパフォーマンスを発揮できるよう、本回路の接地は非ループ状（絶縁）になっている必要があります。NEC（米国電気工事基準）の210-21項および210-23項を参照してください。本機には以下リストに記載のプラグ付き電源コードが同梱されており、リストに記載のコンセントが必要です。この電源コードには、いかなる変更を加えた場合も本製品のすべての保証が無効になる恐れがあります。

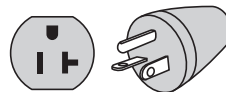
テレビを内蔵したユニット（TOUCH、TOUCH XL など）の場合、テレビの電源要件はユニットに含まれています。両端が「Fタイプ」のコンプレッション フィッティングであるRG6同軸ケーブルでカーディオユニットとビデオソースの間を接続する必要があります。アドオンデジタルテレビ（LEDのみ）を備えたユニットの場合、アドオンデジタルテレビが接続されている機械が、アドオンデジタルテレビに電力を供給します。アドオンのデジタルテレビには追加の電源要件は必要ありません。

110Vユニット

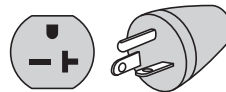
110 Vユニットでは、電源に100-125 V、60 Hz、および非ループ状（絶縁）中性点接地を持つ20 Aの「専用回路」を使用する必要があります。このコンセントはNEMA 5-20Rであり、電源プラグと同じ構成になっている必要があります。本製品にはアダプターを併用しないでください。

220Vユニット

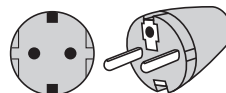
220 Vユニットでは、電源に216-250 V、50 Hz、および非ループ状（絶縁）中性点接地を持つ20 Aの「専用回路」を使用する必要があります。このコンセントはNEMA 6-20Rであり、電源プラグと同じ構成になっている必要があります。本製品にはアダプターを併用しないでください。



110 NEMA 5-20 P
プラグ（北米）



220 NEMA 6-20 P
プラグ（北米）



ユーロプラグ
（欧州）

図は北米および欧州の電源コードプラグです。国によって、プラグの種類は異なる場合があります。

接地の指示事項

本機は接地する必要があります。故障や機能停止が発生した場合、接地により、電流には抵抗が最小となる経路が与えられるので、感電のリスクが減ります。本ユニットには機器接地導線と接地プラグのついたコードが装備されています。プラグは正しく取り付けられた適切なコンセントに差し込み、現地の規定や条例に従って接地する必要があります。使用者が以上の接地の指示事項に従わない場合、MATRIXの限定保証が無効になるおそれがあります。

追加の電気系統に関する情報

専用回路の要件に加え、回路のブレーカーボックスから、最大数のユニットに給電している各コンセントまで、適切な規格のワイヤを使用する必要があります。回路ブレーカーボックスから各コンセントまでの距離が100フィート（30.5 m）以下の場合は12番のワイヤを使用してください。回路ブレーカーボックスからコンセントまでの距離が100フィート（30.5 m）より大きい場合は10番のワイヤを使用してください。

省エネ / 低電力モード

すべてのユニットは、ある一定期間使用していなかった場合に省エネ / 低電力モードに切り替わるよう設定されています。低電力モードになった場合は、ユニットが完全に再開できるまでにさらに時間が必要になることがあります。この省エネ機能は「マネージャーモード」または「エンジニアモード」で有効 / 無効を切り替えることができます。

アドオンデジタルテレビ (LED、PREMIUM LED)

アドオンのデジタルテレビには追加の電源要件は必要ありません。両端が「Fタイプ」のコンプレッション フィッティングであるRG6同軸ケーブルは、ビデオソースと各アドオンのデジタルテレビユニット間で接続する必要があります。



危険！

本機の接地導線を適切に接続しない場合、感電のリスクが生じる可能性があります。本製品が適切に接地されているか確信が持てない場合は、資格をもった電気技師またはサービスエンジニアに点検を依頼してください。本製品に付属の電源プラグは改造しないでください。電源プラグがコンセントに合わない場合は、資格をもった電気技師に適切なコンセントを取り付けてもらってください。

FCC 規則（米国のみ）

本機は FCC 規則パート 15 に従って試験済みであり、クラス B、デジタルデバイスの制限事項に適合すると判定されています。これら制限事項は住宅地域で設置された場合の有害な電磁波に対する適正な保護を提供するように規定されています。本機は高周波エネルギーを生成、使用し、高周波エネルギーを放射することがあります。指示通りに設置、使用されなかった場合、無線通信に対する有害な電磁障害を起こすことがあります。しかしながら、特定の設置状況において電磁障害が起こさないとの保証はありません。本機がラジオまたはテレビの受信に有害な電磁障害を起こした場合、次の措置を取ることで電磁障害を是正することを推奨いたします。電磁障害の有無は本機の電源を切ってから入れることで特定することができます。

- 受信アンテナの向きを変えるまたは場所を変える。
- 本機と受信機間の間隔を広くする。
- 受信機が接続されているのとは別のコンセントに本機を接続する。
- 販売店または熟練のラジオ / テレビ技師にサポートを依頼する。

FCC RF 放射線照射に関するステートメント：

1. 本送信機は別のアンテナまたは別の送信機と一緒に配置したり、稼働させてはなりません。
2. 本機は制御された環境に対して規定された FCC RF 放射線照射限界に適合します。本機は放射源と人体の間に 20 センチメートル以上の距離を空けて設置および稼働する必要があります。

組立

開梱

本機の開梱は本機を使用する場所で行ってください。箱を平坦で水平な床面に配置してください。床面上に保護カバーを配置することが推奨されます。箱が横転している状態で開梱しないでください。

重要な注意

組み立ての各ステップにおいて、ナットとボルトのすべてが所定の位置に配置されており、部分的にねじ込まれていることを確認してください。

組立時や使用時の補助として、一部の部品は事前に潤滑剤が塗布されています。潤滑剤を拭き取らないでください。潤滑が不足すると思われる場合、リチウムグリスを軽く塗布することを推奨いたします。

警告！

組み立ての工程にはいくつか特に注意する必要がある箇所があります。組み立ての説明に正確に従って全ての部品がしっかりと締め付けられていることを確認することは、非常に重要です。組み立ての説明に正しく従わない場合、部品の締め付けが不十分であったり緩みが生じたりすることがあり、耳障りなる音が発生する原因となることがあります。本機の損傷を防ぐために、組立の説明をご確認のうえ、必要な修正方法に従っていただく必要があります。

お問い合わせについて

ご質問がある場合、または部品が不足している場合、カスタマーサービスまでお問い合わせください。連絡先情報はインフォメーションカードにあります。

必要な工具：

- ☐ 8 mm Tレンチ
- ☐ 5 mm 六角棒レンチ
- ☐ 6 mm 六角棒レンチ
- ☐ プラスドライバー

同梱部品：

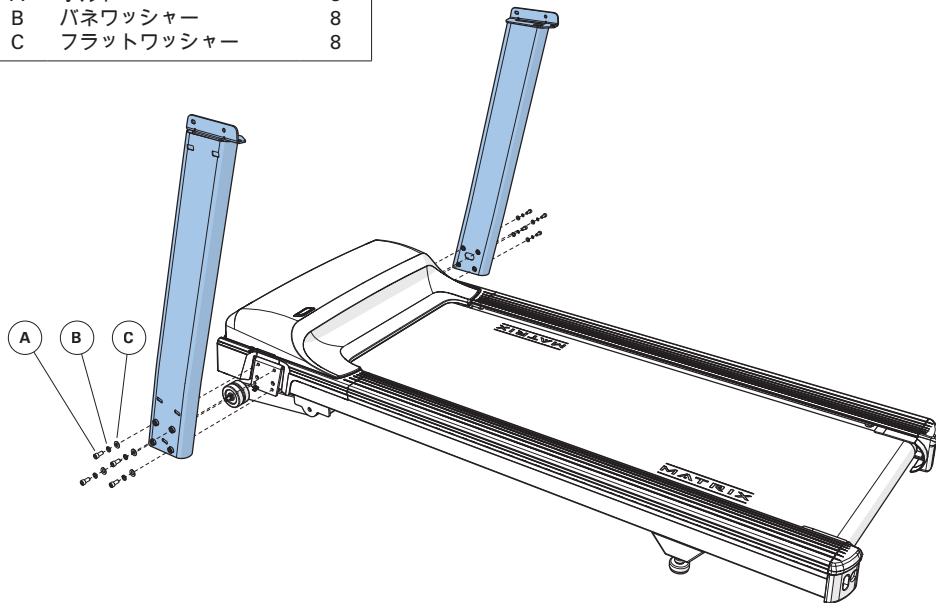
- ☐ ベースフレーム x 1
- ☐ コンソールマスト x 2
- ☐ コンソールベースセット x 1
- ☐ コンソールマストカバー x 4
- ☐ コンソールリアカバー x 1
- ☐ グリップセット x 1
- ☐ ハンドルバーカバー x 2
- ☐ 電源コード x 1
- ☐ ハードウェアキット x 1
- ☐ 結束バンド x 1

コンソールは別売



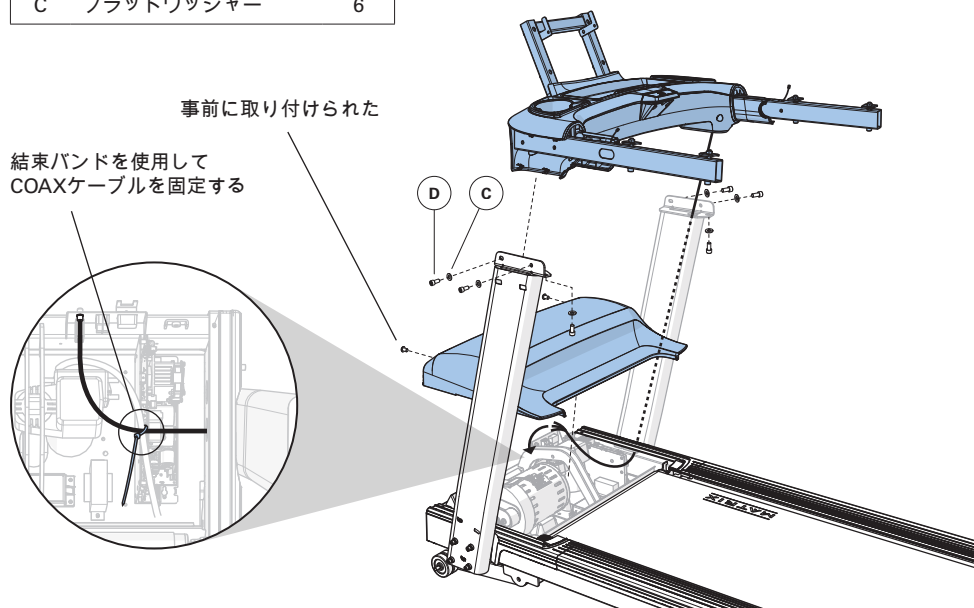
1	ハードウェア	数量
A	ボルト	8
B	パネワッシャー	8
C	フラットワッシャー	8

ステップ3を完了するまでボルトを締めないでください。



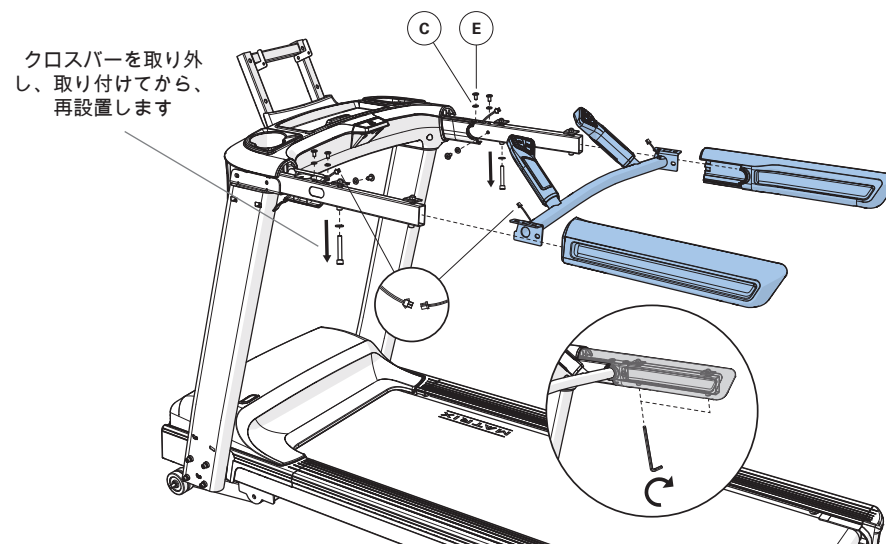
2	ハードウェア	数量
D	ボルト	6
C	フラットワッシャー	6

事前に取り付けられた
結束バンドを使用して
COAXケーブルを固定する



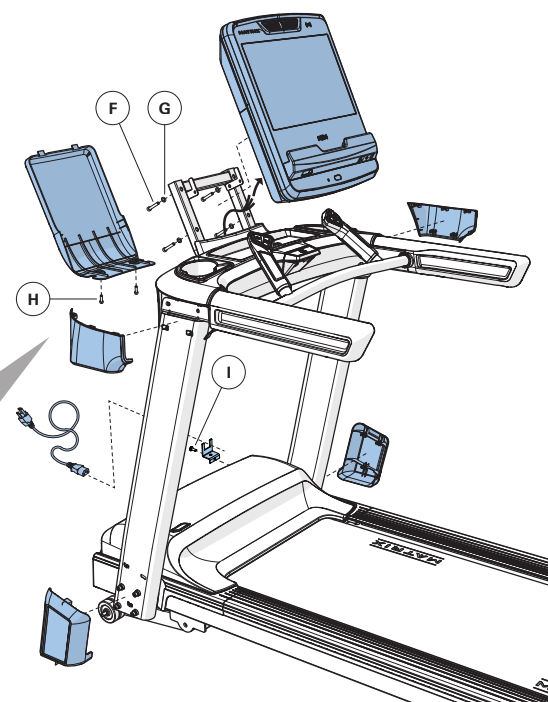
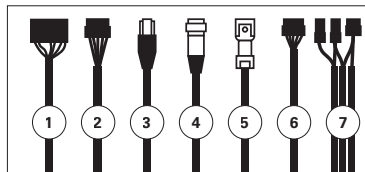
3	ハードウェア	数量
E	ボルト	6
C	フラットワッシャー	6

ステップ1-3のボルトをすべて締めます。



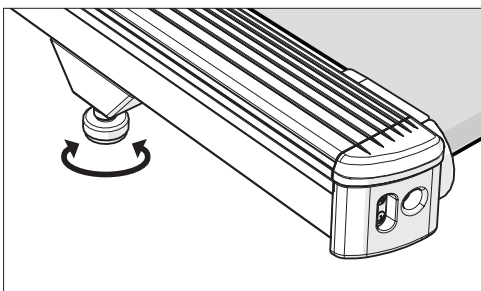
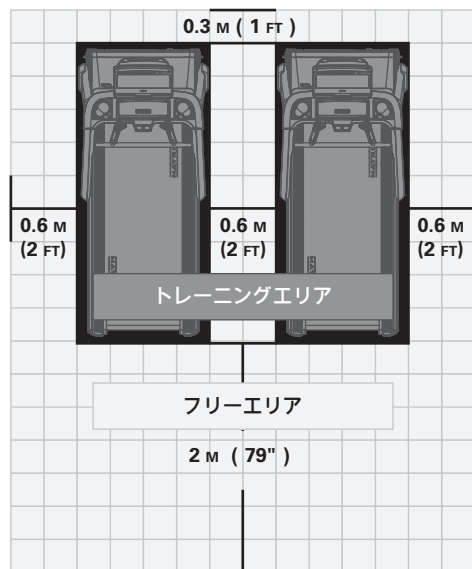
4	ハードウェア	数量
F	ボルト	4
G	フラットワッシャー	4
H	ネジ (20 mm)	2
I	ネジ (10 mm)	1

- 1 MCBコミュニケーション
- 2 延長電源線
- 3 イーサネット
- 4 同軸
- 5 アース線
- 6 緊急停止
- 7 コンソール接続線



組み立て完了

ご使用前に



警告！

本機は大変重いマシンです。本機を移動する際は、十分に注意して、必要に応じて人数を追加してください。これらの指示に従わない場合、怪我が発生する恐れがあります。

マシンの設置場所

本機の後ろに本機の幅以上および長さ 2 メートル (79 インチ) 以上の空きスペースを確保してください。この空きスペースは、使用者がトレッドミルの後端から落下した場合に重傷を負うリスクを減らすために重要です。この空きスペースには、いかなる障害物も置かず、本機からの昇降口を十分に確保してください。

アクセスを簡単にするために、本機の両側に少なくとも 0.6 メートル (24 インチ) の人が立ち入ることのできるスペースを確保して使用者がどちらの側からでもアクセスできるようにしてください。本機は排気口または通気口を塞ぐ場所に配置しないでください。

本機は、直射日光を避けて設置してください。強い紫外線はプラスチック部の退色を招くことがあります。本機は低温低湿の場所に配置してください。トレッドミルは、屋外、水の近く、または温度と湿度が制御されていない環境 (ガレージ、屋根付きのパティオなど) に設置しないでください。

本機のレベリング

安定した水平な床に本機を設置してください。本機が正しく機能するにはレベラーが正しく調節されていることが非常に重要です。本体を下げるにはレベリングフットを時計回りに回し、上げるには反時計回りに回します。本機が水平になるまで、両方のサイドを必要に応じて調節します。本体のバランスの取れていないと、ベルトのずれやその他の問題が生じることがあります。水準器の使用推奨。



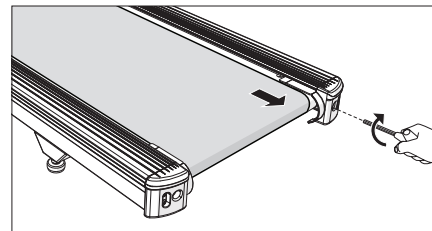


ランニングベルトを張る

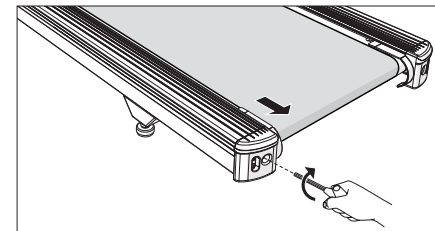
本機を使用場所に設置した後、ベルトが正しい張力で中心が合うように張られているかを確認してください。ベルトは最初に2時間使用した後、調整する必要がある場合があります。ベルトの伸び具合は、温度、湿度、および使用頻度によって異なります。使用者が乗る際にベルトが滑るようになったら、必ず以下の指示に従ってください。

- 1) 本機の裏側にある六角ボルト2本を探します。ボルトは本機の裏側のフレーム両端に1本ずつあります。このボルトを使って裏側のベルトローラーを調整します。本機がオンになるまで調整しないでください。オンになってから調整することで、片側だけ締め付けすぎを回避できます。
- 2) ベルトはフレームの間の両側から同じ距離となる場所にある必要があります。ベルトがいずれかの側に接触している場合は、本機をスタートさせないでください。ボルトを両側で反時計回りに約1回転させてください。ベルトがサイドレールに対して平行になるまで左右に押し、手でベルトが中心に来るように位置決めします。使用者が緩めた場合はボルトを同じだけ締め付けます（約1回転）。ベルトに損傷が無いかを確認します。
- 3) GOボタンを押して本機のランニングベルトをスタートします。速度を毎時4.8キロ（3マイル）まで上げ、ベルトの位置を確認します。右に動く場合は、右のボルトを時計回りに1/4回転させ、左のベルトを1/4回転緩めます。左に動く場合は、左のボルトを時計回りに1/4回転させ、右のベルトを1/4回転緩めます。ベルトが数分間中央に残るようになるまで、ステップ3を繰り返します。
- 4) ベルトの張力を確認します。ベルトはしっかり張っている必要があります。ベルトの上を人間が歩くまたは走る際、ベルトがスムーズに動き、滑らないようにしてください。そうならない場合は、両方のボルトを時計回りに1/4回転回してベルトを締め付けます。必要に応じて繰り返してください。

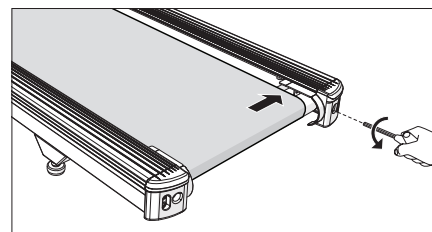
注意：サイドレールの横の位置にあるオレンジ色のストリップを基準として使い、ベルトが正しく中央に位置決めされているかどうかを確認します。ベルトの端がオレンジまたは白のストリップに並行になるまでベルトを調整する必要があります。



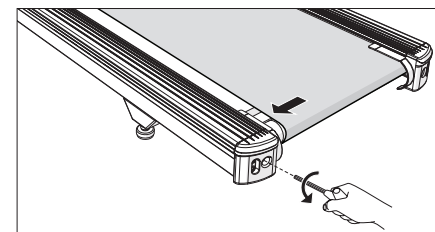
ローラーの右側を締め付ける



ローラーの左側を締め付ける



ベルトが左側から遠すぎます



ベルトが右側から遠すぎます

警告！

中央に位置決めしている際、ベルトを毎時4.8キロ（3マイル）を超える速度で動かさないでください。指、髪、衣服を絶対にベルトに近づけないでください。

本機は使用者を支え、また緊急的に本機から降りる際に使用できるよう、両側にハンドレールおよび前面にハンドルバーを備えており、緊急ボタンを押して本機を停止させ、即座に降りることができます。

製品仕様

コンソール	LIFESTYLE			
	TOUCH XL	TOUCH	PREMIUM LED	LED / GROUP TRAINING LED
最大使用者重量	182 kg / 400 lbs			
製品重量	150.9 kg / 332.7 lbs	148 kg / 326.3 lbs	146.2 kg / 322.4 lbs	145.5 kg / 320.8 lbs
梱包重量	182.6 kg / 402.6 lbs	178 kg / 392.4 lbs	176.2 kg / 388.5 lbs	175.5 kg / 386.9 lbs
全体寸法 (長さ×幅×高さ)*	201.1 × 90.4 × 170.8 cm / 79.2" × 35.6" × 67.2"	201.1 × 90.4 × 164.2 cm / 79.2" × 35.6" × 64.6"	201.1 × 90.4 × 164.2 cm / 79.2" × 35.6" × 64.6"	201.1 × 90.4 × 164.2 cm / 79.2" × 35.6" × 64.6"

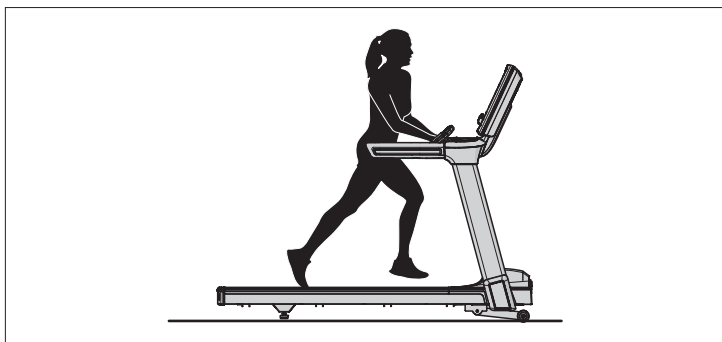
* MATRIX マシンにスムーズにアクセスできるようにし、マシンの周囲に少なくとも0.6メートル(24")のスペースを確保してください。

注：0.91 m（36"）は車いす使用者のための ADA 推奨間隔幅です。



用途

- ・ 本機は、ウォーキング、ジョギング、ランニングのエクササイズのみを目的としています。
- ・ 本機の使用中は常に運動靴を着用してください。
- ・ 怪我のリスク - 怪我をしないよう、使用前に安全クリップを衣服に取り付けてください。
- ・ 怪我をしないよう、動いているベルトに乗り降りするときは十分に注意してください。本機を始動させるときは、サイドレールの上に立ちます。
- ・ 本機が作動中は、トレッドミルのコントロールの方（トレッドミルの正面）を向いてください。常時、身体と頭を前に向けてください。本機をご使用中に振り向いたり、後ろを向いたりしてはいけません。
- ・ 本機の操作中は常に制御を維持してください。制御を維持できないと感じた場合はいつでも、ハンドルバーをつかんで身体を支え、動かないサイドレールに移動し、動作中のランニングベルトを停止させてから降りてください。
- ・ 本機から降りる前に、ランニングベルトが完全に停止するまで待ちます。
- ・ 痛み、立ちくらみ、めまい、または息切れを感じたら、直ちに運動を中止してください。



正しい使用法

ベルト上に立ち、腕を少し曲げて心拍数センサーを握ります（図を参照）。トレーニング中は、前のハンドルバーにぶつからずに腕を自然に振ることができるように、ベルトの中央をランニングします。

本機は高速でお使いいただけるようになっています。最初はゆっくりとしたスピードから始め、徐々にスピードを上げてください。本機が稼働したまま放置しないでください。

注意！ 怪我のリスク

本機の使用準備中に、ベルトの上に立たないでください。本機を作動させる前に、サイドレールに足を置いてください。ベルトが動く前にベルトの上を歩かないでください。本機を速いランニング速度で開始したり、ジャンプしたりしないでください。緊急時は両手をサイドアームレストに置き、自分の体を持ち上げてサイドレールに足を乗せて下さい。

安全ストッパーの使用

本機は緊急停止ボタンがリセットされてない時には始動しません。服にクリップの端をしっかり取り付けます。この安全ストッパーは転倒しかけた際に本機への電源を遮断するように設計されています。2週間ごとに安全ストッパーの動作を点検してください。

警告！

本機を使用の際は、必ず安全クリップを服に取り付けてください。安全キーのクリップを装着し、服から外れないようにしてください。

心拍数機能を使用する

本製品の心拍数機能は医療機器用ではありません。心拍数グリップはあなたの現在の心拍数を相対的に推定できますが、正確な読み取り数値が必要になる場合は、表示される値を信頼しないでください。心臓リハビリテーションプログラム中の人たちも含めて、胸部または手首のストラップ式の心拍数モニタリングシステムの使用が役に立つ人たちもいます。心拍数の読み取りの精度には、使用者の動きも含めて様々な要素が影響を及ぼします。心拍数の表示は、一般的な心拍数の傾向を特定するエクササイズの補助用としてのみ意図されています。医師にご相談ください。

手のひらを直接グリップパルスハンドルバーの上に置いてください。心拍数を記録するには両手でバーを握っている必要があります。心拍数を記録するには、連続で5回分の心臓の鼓動（15-20秒）が必要です。パルスハンドルバーを握る際は、きつく握らないでください。グリップをきつく握ると、血圧が上昇してしまうことがあります。手をまるめて、ゆるくつかみ続けてください。グリップパルスハンドルバーをずっとつかみ続けていると、読み出された結果が不規則になる場合があります。接触部を適切な状態に維持できるよう、パルスセンサーを清潔に保ってください。

警告！

心拍数モニタリングシステムは正確でないこともあります。適度な範囲を超えた運動は、重度の怪我や死亡に至る恐れがあります。めまいを感じた場合、直ちに運動を中止してください。



メンテナンス

- 1) パーツの取り外しまたは交換は、有資格のサービスエンジニアが行う必要があります。
- 2) 本機が損傷している、または本機に摩耗している部品や壊れた部品がある場合、本機を使用しないでください。最寄りの MATRIX 販売店から供給された交換パーツのみを使用してください。
- 3) ラベルとネームプレートの維持：いかなる理由があってもラベルは外さないでください。ラベルには重要な情報が記載されています。ラベルまたはネームプレートが読み取り不可能であったり欠けている場合はご購入の MATRIX 販売店まで交換をご依頼ください。
- 4) 本機のメンテナンス：本機に損傷や摩耗がないか定期的に検査されている場合に限り、本機の安全レベルは維持されます。本機を問題なく使用し、損害賠償責任の可能性を最小限にとどめるには、予防的メンテナンスが重要になります。本機は定期的に点検する必要があります。損傷または摩耗の兆候が見つかった場合は、本機を使用しないでください。本機を稼働状態に戻す前に、サービスエンジニアにマシンの検査と修理を依頼してください。
- 5) 調整、メンテナンス、または修理の実施者は必ず有資格者であることを常に確認してください。MATRIX 販売店は、ご要望に応じて、当社施設でのサービスとメンテナンスの研修を提供しています。

警告！

本機から電源を取り外すには、電源コードを壁のコンセントから抜く必要があります。

お手入れの仕方

予防的メンテナンスおよび日常のお手入れを行うことで、本機の製品寿命と外観を長持ちさせることができます。

- 柔らかくて清潔な綿の布を使用します。本機の表面を拭く際にペーパータオルを使わないでください。ペーパータオルを使用すると擦れて表面に傷がつくことがあります。
- 中性洗剤と濡らした布を使用してください。アンモニアベースの洗剤やアルコールを使用しないでください。これらを使用するとアルミや樹脂部分に接触して色落ちの原因となることがあります。
- 本機のどの部分にも水や溶液をかけないでください。水や溶液がかかると、感電死することがあります。
- コンソール、心拍計測用グリップ、ハンドル、サイドレールは使用後に拭いてください。
- デッキおよびベルト部分に潤滑剤がこびりついている場合はブラシで掃除してください。このこびりつきは、ベルトの材料に潤滑剤が入り込むまでによく発生します。
- 電源コードなど、昇降ホイールの軌道に障害となる物が無いようにしてください。
- タッチスクリーンをお手入れする際は、スプレーボトルに入れた蒸留水を使用してください。柔らかく清潔で乾いた布に蒸留水をスプレーし、スクリーンの汚れが取れて乾くまで拭いてください。汚れがひどい場合は、スプレーボトルに酢を加えることをお勧めします。

注意！

怪我や本機の損傷を防止するため、本機の設置や移動には手伝ってくれる人員を確保してください。

メンテナンスのスケジュール

作業	頻度
ユニットの電源プラグを抜きます。マシン全体を水と中性洗剤、またはその他 MATRIX 認定液を使用して洗浄します（洗浄剤には非アルコール系および非アンモニア系のものをご使用ください）。	毎日
電源コードを点検します。電源コードが損傷している場合は、カスタマーサービスまで問い合わせてください。	毎日
電源コードが本機の下や保管 / 使用時に挟まれたり切れたりするような場所に無いことを確認します。	毎日
本機の電源プラグをコンセントから抜き、モーターカバーを外します。ゴミが無いか確認し、乾いた布または小型掃除機で掃除します。 警告：モーターカバーを再度取り付けるまで、本機のプラグを接続しないでください。	毎月

デッキおよびベルトの交換

トレッドミルで最もよく摩耗および破断するパーツは、デッキとベルトの組み合わせです。この2点が正しくメンテナンスされていないと、他の部品の損傷につながりかねません。本機は、最新のメンテナンス不要の潤滑システムを採用しています。

警告：ベルトおよびデッキの清掃中は、本機を作動させないでください。作動させた場合、重傷または本機の損傷の原因となることがあります。

ベルトおよびデッキのお手入れをする際は、ベルトおよびデッキの側面を清潔な布で拭いてください。ベルトの両側の下51ミリ（2インチ）を拭いて、埃やゴミを取り除くこともできます。

デッキの裏返し、再設置、または交換については、認定されたサービスエンジニアのみが行ってください。詳細はMATRIX販売店にお問い合わせください。

MATRIX



LIFESTYLE **TREADMILL**

© 2020 Johnson Health Tech
Rev 1.3 C